



上空に強い寒気が入り、暴風雪のニュースが九州にまで及んだ1月下旬。飯館村でもぐっと気温が下がり、この冬一番の冷え込みとなりました。写真は比叡地区。パウダースノーが風に舞い、野山にペールをかけました。

この2月号が届く頃には立春を過ぎ、暦の上では春になります。紙面ならば、ちっとも寒くありませんから、粉雪の美しさだけを楽しんでください。

えたものの、影響は広範囲に及び、全国の交通網に大きな打撃を与えました。この寒波のピークを迎えた1月25日、村内の「最高気温」はマイナス7度。非常に厳しい冬の1日となりました。夜が明けると、役場の周辺も辺り一面真っ白に。出勤してきた職員が停めた自動車も、あつという間に粉雪をまよって凍りつき、オブジェのようになっていました。

あぶくま高原に位置する飯館村。厳冬の寒さはひとしおです。厳しい自然を逆手に取って、寒さを生かした、凍み餅、凍み大根づくりなど、いわゆる「凍みもの文化」が育まれてきました。昨年の12月にも大雪に見舞われましたが、年末年始は穏やかで、雪のないお正月を迎えました。大寒波がやって来たのは、1月下旬。低温、暴風、大雪の予報が繰り返し報道され、覚悟を決めて迎

# 飯館百景

寒波到来!



半分凍った岩部ダム。氷の上を雪煙が滑っていきます。



庁舎の前庭。遠くの景色が全く見えません。



雪まみれの垣根からひょっこり一枝。ちょっと楽しい。